

# Stop! ざ・メタボNo.7 「脂質異常症」って何?

メタボリックシンドロームの判定基準のひとつにもある「脂質異常症」は、つい最近まで「高脂血症」と呼ばれていました。

脂質異常症とは、血液中の脂質が増えすぎた状態で、放置しておくと動脈硬化を引き起こします。

高脂血症では総コレステロール値が高いことが診断基準でしたが、コレステロールには善玉のHDLコレステロールと悪玉のLDLコレステロールがあり、善玉のHDLコレステロール値が高い場合でも高脂血症と診断され、動脈硬化の危険性を正しく診断できないため、日本動脈硬化学会が名前を変更しました。

脂質異常症では、LDLコレステロール値、HDLコレステロール値、中性脂肪値のそれぞれに基準が設けられており、善玉のHDLコレステロール値が低い場合に動脈硬化になることが分かっています。

## ◇脂質異常症の診断基準（空腹時採血）

- |                |            |            |
|----------------|------------|------------|
| ・高LDLコレステロール血症 | LDLコレステロール | 140mg/dl以上 |
| ・低HDLコレステロール血症 | HDLコレステロール | 40mg/dl未満  |
| ・高トリグリセライド血症   | 中性脂肪       | 150mg/dl以上 |

